

縄文シリーズ 先史時代物語

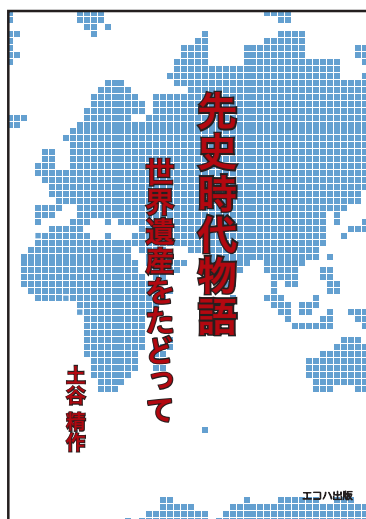
世界遺産をたどって

[著] 土谷 精作

人類の先史時代の中で日本の縄文はどのように位置付けられるのであろうか。北海道、北東北縄文遺跡群が世界遺産に登録されたのを機に「先史時代物語」を発行する。これは前回発行した「縄文の世界はおもしろい」の姉妹編である。

人類に共通する「生と死」への祈り、自然への畏敬の念などとともに、日本の縄文時代は土器や土偶等の独創性、四季折々への感受性が際立っており、自然と共生し、平等で戦争のない社会を1万年以上も続けたことは誇るべき文化の独自性である。

現代社会の先行きが見えなくなっている今だからこそ長くて広い視野から歴史と社会を考えてみる必要があるだろう。



◆目次

- 第Ⅰ章 人類の誕生と氷河期の芸術
- 第Ⅱ章 狩人たちの岩絵
- 第Ⅲ章 先史時代の暮らしと集落
- 第Ⅳ章 謎に満ちた巨石文化
- 第Ⅴ章 都市文明の曙
- 第Ⅵ章 氷河時代の日本列島
- 第Ⅶ章 世界から見た縄文時代
- 終章 縄文時代からのメッセージ
- 先史時代の世界遺産リスト

◆著者紹介

土谷 精作(つちや せいさく)

島根県出身、1935年生まれ。早稲田大学政治学科を卒業してNHK記者。札幌勤務を経て社会部記者となり、全国各地で取材活動が続けた。その時、縄文に関連する取材もした。退職後、専修大学、大東文化大学ほかで放送論、情報文化論などを担当。日本記者クラブ会員、鎌倉ペンクラブ会員(顧問)。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 Tel 052-915-5211 Fax 052-915-5019
		[発行] エコハ出版 [編] 土谷 精作
		縄文シリーズ
		先史時代物語—世界遺産をたどって—
		246頁/A5判/並製 定価 2,000円(税別)
	冊	ISBN 978-4-86693-501-0 C1021
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177 (TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		